

渋沢翁に学びつつ・・・

明けましておめでとうございます。

今年 81 歳になります。男性の平均寿命。年相応の体力低下と色々な症状が出ていますが、まずは健康でいることに感謝しウォーキング、水泳、テニスと体調管理に努力しています。



活動することができました。“Seniors, be ambitious!” (熟年よ、大志を抱け!)を心に留め、これからも“見果て

ぬ夢”に向かい創価学会創立 100 周年の 2030 年までは頑張っていきたいと願っている次第です。

皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

2022 年 元旦 清水 武

Don Quijote de Tokio

Mail : donky17@nifty.com/

HP : <http://donky.la.cooocan.jp/>



ここに相手に合った短い言葉を
書き加えます。

二つ目は地元昭島市にできたばかりの総合図書館・アキシマエンスの一角で「世界文学紀行」を開講、地域の方々に楽しんでいただけたことです。これまで訪ねてきた作品の舞台の写真をパワーポイントで映しながら、物語の感動的な場面やエピソードの紹介です。第 1 回は「ドン・キホーテ」、続いて「風と共に去りぬ」「赤毛のアン」「ロミオとジュリエット」「ハムレット」と 5 作品を取り上げてきました。難しかった課題は、ソーシャルディスタンスを保つための出席者人数の調整でした。今年もコロナ感染の状況を見ながら続けていく予定にしています。

そして三つ目は言ってみれば「遊び」ですが、地元つつじが丘団地の 40 人がエントリーしたゴルフコンペで初めて優勝をしたことです。定年後に初めてクラブなるものを握り年に 5 回ほどの各種コンペに出ていましたが、いつも下位で賞といえばブービー賞（下から二番目）でした。スコア 100 を切るのが夢だったのですが、このときはグロス 99 でネット 70（いつも下位だったのでハンデが多かったのも幸いした）は私にとっては歴史的な快挙なのです。

コロナ禍が続いていましたが、このほかいろんなことがあり、仕事やボランティア活動などを総合して自分的には“前進と勝利の年”と言えるのかな、なんて自己評価しているところです。

左は今年の私の年賀状です。いろいろ報告したり伝えたいのですが、ハガキのスペースがないのでこの欄で補足し自分の目標とすることにしました。これまでも外に向かって発表することでより決意も深くなり結果的に目標も達成できていることが多いからです。

昨年は自分の人生に大きな歴史を刻むことができました。それは左の写真にあるオリンピックのボランティアとして選手村で活動できたことです。当初、コロナ感染の拡大を危惧して開催そのものについて賛成と反対の意見が二分していましたが、私自身は「平和の祭典」であることに意義を認め参加しました。選手との交流も限られましたが、それでも 200 カ国余から集った選手村にいると一時的にしても“世界のど真ん中にいる”といったような気分になったものです。

男性の平均寿命にたどり着いた今、健康でいられることに感謝し、体調維持のために今年も毎日 8000 歩のウォーキング、週 1 回以上の水泳かテニス、それにゴルフも年に 5 回ほどはコンペに出たいと思っています。そして社会や人のためになる献身の活動、仕事やボランティアに励むこと。そのやり甲斐が生きがいとなり心の面の体調管理に通じているからです。歳を取っても” Seniors, be ambitious!” (熟年よ、大志を抱け!) であり続けたい。

具体的には：

- ① 市が運営するシニア向け英会話講座の講師として更に楽しいクラスにしていきたい。
- ② 地元の中学校の学習支援員として子供たちのために多角的な応援をしていきたい。
- ③ 横田基地のアメリカ人の SGI (Soka Gakkai International) メンバーをより価値的に支えていきたい。そのためにはもっと英語を磨いていくこと。
- ④ 世界文学紀行をコロナ感染の様子を見ながら 4 月くらいには再開したい。
- ⑤ 地元のシニアクラブ 20 周年記念誌の編集に十分な力を発揮して貢献していくこと。

等々。

昨年、好評だった NHK の大河ドラマ「晴天を衝け」の最終回 (12 月 26 日放送) で渋沢栄一が言っていました。

- 91 歳のこの老人でも役に立つことがあるなんてありがたいことだ。
- 自分が楽しいだけでなく皆が楽しいのが一番なのだ。
- 100 歳まで頑張ろうとしたが・・・まだまだ励むでえ！

なんだか自分に向けての激励の言葉のようにも聞こえました。渋沢翁の言葉を胸にまたこの 1 年、元気に頑張っていきたいと思っています。

